

# 1. 評価結果概要表

作成日 平成19年12月15日

## 【評価実施概要】

事業所番号	0172901431		
法人名	有限会社 ポプラ		
事業所名	グループホーム あじさい		
所在地	旭川市春光4条9丁目6番12号 (電話) 0166-54-6944		
評価機関名	(有) ふるさとネットサービス		
所在地	札幌市中央区北1条西5丁目北1条ビル		
訪問調査日	平成19年12月10日	評価確定日	平成20年1月9日

【情報提供票より】 (19年11月22日事業所記入)

### (1) 組織概要

開設年月日	平成15年10月24日		
ユニット数	2 ユニット	利用定員数計	18人
職員数	17人	常勤14人, 非常勤3人, 常勤換算11.0人	

### (2) 建物概要

建物構造	木造り		
	2階建ての	1~2	階部分

### (3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	28,000円	その他の経費(月額)	水道光熱費等 19,000円
敷金	有( )円	〇無	燃料費5,000円(10~5月)
保証金の有無 (入居一時金含む)	有( )円	有りの場合 償却の有無	有 / 〇無
食材料費	朝食	円	昼食 円
	夕食	円	おやつ 円
	または1日当たり		1,267円

### (4) 利用者の概要 (11月1日現在)

利用者人数	18名	男性 3名	女性 15名
要介護1	1名	要介護2	2名
要介護3	10名	要介護4	3名
要介護5	2名	要支援2	0
年齢	平均 80.1歳	最低 65歳	最高 98歳

### (5) 協力医療機関

協力医療機関名	中島病院、松本呼吸器内科、いけだ矯正歯科、他1件
---------	--------------------------

## 【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

運営法人は「グループホームあじさい」のほかに高齢者ハウス2箇所を開設しており、法人代表者である管理者が、想いを込め高齢者の介護サービスに熱意をもって取り組んでいる姿勢が、ホーム内の様子から伺える。平成15年の比較的早い開設であるが、バリアフリーや明るくゆったりとした居室、シャワー浴の設置など利用者の生活しやすさを十分に配慮した施設である。また、地域との係わりを重視し、町内行事への参加ばかりでなくホームの行事へも地域住民を招待するなど地域密着型の姿勢を貫き、ホーム運営においてもショートステイの受け入れ、利用者の終末期にも対応した居室の整備など、家族が安心して利用者を預けられるホームである。

## 【重点項目への取組状況】

重点項目①	<p>前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況(関連項目:外部4)</p> <p>前回指摘のあった利用者の権利は文章化されて契約書に明示されている。職員の研修も積極的に参加し、研修内容の共有化も終了後の勉強会で管理者又は参加者から報告されており、利用者のケアサービスに活かされている。</p>
	<p>今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)</p> <p>自己評価は職員全員が参加し、各自が記入したものをユニットリーダーや管理者がまとめて作成している。評価結果については、会議などで話し合い、新たな取り組みが必要な事項については、実施に向けて検討中である。</p>
重点項目②	<p>運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4, 5, 6)</p> <p>運営推進会議は、今年11月に第1回目を開催したが、これ以前に同様のメンバーで会議を持ち、ホームの運営状況報告や意見交換がなされていた。会議のメンバーは地域住民代表、家族、障害生活支援センター関係者、ホーム代表などで、ホームに対する意見要望などの話し合いがなされているが、今後も定期的な実施し、会議内容も地域との係わり方、ホームへの協力要請、認知症などについての理解などを検討しながら積極的な取り組みを望みたい。</p>
	<p>家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7, 8)</p> <p>家族には「ホーム便り」を発行して様子を知らせているほか、家族がホームへ頻繁に来訪するのでその際に、管理者や職員から気軽に声掛けして意見や苦情を話せる雰囲気を作っている。家族の意見などはミーティングなどで検討し、利用者のケアサービスに反映させている。</p>
重点項目③	<p>日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)</p> <p>管理者は、ホーム地域との係わりを大切にし、各種町内会行事へ参加している。さらに、ホームを理解してもらうため、ホームの「あじさい祭り」には周辺住民を招き、無料の軽飲食を提供するなど地域との連携強化に努めている。</p>
重点項目④	

## 2. 評価結果（詳細）

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>I. 理念に基づく運営</b>					
<b>1. 理念と共有</b>					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	ホームの運営理念及び事業所の基本方針の中で地域との係わりを重視しており、これにもとづき、地域との支え合う関係を築いている。		
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	管理者から職員に対して、理念にもとづくケアサービスの重要性について話しており、全職員の共有理念として利用者の支援に取り組んでいる。		
<b>2. 地域との支えあい</b>					
3	5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	ホームと地域との係わりを開設当初から重要視しており、町内会行事への参加ばかりでなく、ホーム行事「あじさい祭り」には多くの地域住民や子供たちが集まるなど地元との交流が積極的に行なわれている。		
<b>3. 理念を実践するための制度の理解と活用</b>					
4	7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	ホーム開設後4年を経過し、管理者及び職員は評価実施の意義を十分理解しており、評価結果をもとに改善に取り組むなど評価を活かしている。		

旭川市 グループホーム あじさい

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
5	8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議は、今年11月第1回を開催し、ホーム概要報告や意見交換が行なわれているが、推進会議開催以前にもほぼ同様の参加者で会議を開催している。	○	運営推進会議は、ホームへの理解を得るとともに諸協力をお願いする絶好の機会なので、災害時の協力要請など地域との連携を改めて要請することが望ましい。会議を活用した地域密着型サービスの展開を期待する。
6	9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	市担当者とは積極的に接触し、各種相談や情報収集に努めており、担当者も年に1回はホームを訪れるなど行政と連絡を密にしている。		
<b>4. 理念を実践するための体制</b>					
7	14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	家族へは毎月の「ホーム便り」もあるが、家族のホーム来訪も頻繁であり、その際に管理者や職員から利用者の健康状態など日ごろの暮らしぶりを詳細に伝えている。		
8	15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	家族からの意見や不満などをホーム来訪時に、職員が気軽に話掛けて聞くようにしており、これらをミーティングなどで検討しながら利用者のケアサービスに反映させている。		
9	18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	職員の異動はできるだけ少ないように努めており、職員の離職や新規採用に際しては、利用者には不安を与えないよう細心の注意を払っている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>5. 人材の育成と支援</b>					
10	19	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	毎月、ホーム内部で勉強会があるほか、外部研修にも積極的に参加させている。受講した研修内容は復命書で報告するほか、勉強会において管理者又は受講者が報告をするなど研修内容を共有している。		
11	20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	市内の同業者同士による研究会で定期的に勉強会が開催されており、さらにホームの相互訪問も実施するなど同業者との交流を通してサービスの質的向上に取り組んでいる。		
<b>II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
<b>1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応</b>					
12	26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	利用希望者には事前に管理者又は職員が家族や本人と面接し、ホーム見学にきてもらうなどホームに自然と馴染めるよう工夫している。		
<b>2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援</b>					
13	27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	職員は、利用者とともに支えあう関係を理解しており、調理、掃除、畑作業など詳しい利用者から教えてもらいながら日常生活を過ごしており、利用者との良好な関係を保持している。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
<b>1. 一人ひとりの把握</b>					
14	33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	利用者に寄り添いながら日常行動や表情から利用者の思いや希望の把握に努めており、利用者本位の生活を支援している。		
<b>2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し</b>					
15	36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	利用者3人に職員2～3人の担当者がおり、家族の意見も参考にしながら担当者が中心になって案を考え、全員で検討しながら介護計画を作成している。		
16	37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	介護計画は3ヶ月毎に定期見直しをしているが、利用者の身体状況に変化などがあつたときは、家族や医療機関とも話し合いをして随時計画変更している。		
<b>3. 多機能性を活かした柔軟な支援</b>					
17	39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	ホームの車を利用して通院やイベント参加などの外出支援、ショートステイの実施、看取りのための居室、各種相談への対応など柔軟に対応している。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働</b>					
18	43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	メインの協力医療機関が24時間対応可能であるが、利用者の希望でかかりつけ医にも受診可能であり、ホームの車で通院を支援している。		
19	47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	重度化や終末期の取り組みやあり方について具体的な指針も作成しており、家族にも説明をしている。また、看取りの支援として専用の居室も用意してある。		
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
<b>1. その人らしい暮らしの支援</b>					
<b>(1)一人ひとりの尊重</b>					
20	50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	職員は利用者への言葉掛けや行動においてプライバシーや誇りを損なわないように配慮しながら支援している。各種記録なども個人情報の扱いに注意しながら処理するよう心掛けている。		
21	52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	介護計画を基本としているが、ホーム側の都合に合わせることなく、あくまでも利用者のペースを尊重し、本人の気持ちを汲み取りながら支援している。		

旭川市 グループホーム あじさい

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援</b>					
22	54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	食事準備や後片付けは利用者と職員が一緒に行なっている。食事時は管理者は利用者と一緒に食事をとりながら職員とともに利用者に話し掛けたり、食べやすいように支援している。		
23	57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	入浴は週2回を目安として午後を実施しているが、利用者の状況によって午前中の中の入浴も行なわれている。また、1階のユニットには全身シャワー浴が可能な設備もあり、車椅子利用者が入浴しやすいよう配慮されている。		
<b>(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援</b>					
24	59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	利用者の状況に応じて掃除、食事準備などの役割分担やホーム内での各種ゲームなどレクレーションの実施、花壇や畑作りなど得意の分野で力を活かさせながら楽しく暮らせるように応援している。		
25	61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	日常的にホーム周辺を散歩に出掛けているが、利用者の希望に応じて理髪、美容院への外出支援をしている。また、季節によってお祭り見物や動物園などへ出掛けている。		
<b>(4) 安心と安全を支える支援</b>					
26	66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	ホーム1階の正面玄関は夜間のみ施錠され、各ユニットに施錠はない。日中に利用者が外へ出るような気配があっても、職員が見守っており、利用者単独の外出はない。		

旭川市 グループホーム あじさい

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
27	71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	防火訓練、避難訓練、救命救急訓練などを定期的実施し、救命具、消火器なども確認点検を行なっているほか、非常時用のペットボトル、缶詰なども常備されている。	○	実際の災害発生時には周辺住民の協力が必要となるので、日頃から地域へ理解と協力をお願いし、避難場所も家族へ明示することが望ましい。
<b>(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援</b>					
28	77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	利用者の食事量、水分量などは毎日チェックし、身体状況に合わせてお粥や刻み食を提供しており、一人ひとりに合わせた支援をしている。		
<b>2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり</b>					
<b>(1) 居心地のよい環境づくり</b>					
29	81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	施設全体がゆったりとして明るく、清潔感もあるホームである。共用部分には利用者が作成した作品や季節の飾りがあり、不快な音もなく、家庭的雰囲気の中で居心地の良い暮らしを支援している。		
30	83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	居室は明るく、広いスペースのクローゼットも備え付けられている。利用者は以前からの使い慣れた調度品や生活用品を自由に持ち込んでおり、安心して過ごせる居室作りに配慮している。		

※  は、重点項目。

※ WAMNETに公開する際には、本様式のほか、事業所から提出された自己評価票（様式1）を添付すること。